

## 【奨励賞】

### 「北方領土について考えたこと」

根室市立歯舞小中学校

2年 津嶋 ゆかり

北方領土とは、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島から成る、北海道の東にある日本の領土です。ですが、約七十年前にロシアによって北方領土は占拠されてしまいました。住んでいた日本人は追い出され、今も北方領土問題となっています。

日本は、ロシアに対して「北方領土を返せ」と言っています。けれども、もしも、北方領土が日本に返ってきたとして、今、北方領土に住んでいるロシア人は、どうなると思いますか。かつて、日本人が北方領土から追い出されたように、ロシア人も同じように追い出されたりは、しないのでしょうか。そう考えると、私は、正直ロシアに対して、すぐに「北方領土を返せ」と言うことはできないです。

今年、六月に、私の学校ではビザなし交流が行われ、ロシア人が来ました。生徒会の人達は、レクを計画してくれて、生徒もロシア人も、言葉はわからなくても、皆楽しそうに交流していました。ずっと昔、北方領土では日本人とロシア人、一緒に土地を共用して、暮らしていたそうです。ロシア側の主張は「約七十年間ついていたのに、今更返せない」ということでした。ロシアは、北方領土を返したくなくて、日本は、北方領土を返してほしいなら、昔みたいに、一緒に暮らすことができれば良いのになと私は考えました。学校で行われたビザなし交流のようすのように、ロシア人と日本人、仲良くできれば良いのになと思いました。

他にも、一緒に暮らせば良いのになと思った理由があります。私のうちでは漁業を営んで昆布を採っています。そして、北方領土に行って、昆布を採るために、ロシアにお金を払っています。北方領土は日本の領土なのに、ロシアにお金を払わないと昆布を採りに行けないなんて、とても皮肉なことだと思いませんか。

だから私は、北方領土に、日本人とロシア人一緒に住むことができれば良いのになと、思いました。

北方領土については、昔からずっと、日本とロシアの間で対立して、問題になっています。これからも私達は、北方領土問題についてたくさん考えていくと思います。このずっと続いている問題が、いつか平和に解決することを願います。